

## 平成28年度 北海道開発局関係補正予算について

平成28年度補正予算については、「未来への投資を実現する経済対策」（平成28年8月2日閣議決定）に基づき、「一億総活躍社会の実現の加速」、「21世紀型のインフラ整備」、「地方の支援」及び「防災対応の強化」の4分野に必要な経費が計上されました。

（事例等については、P3以降を参照。）

### 1 一億総活躍社会の実現の加速

#### ○社会全体の所得と消費の底上げ

子育て世帯等の住まいに係る支援を実施。

### 2 21世紀型のインフラ整備

#### ○外国人観光客4000万人時代に向けたインフラ整備

大型クルーズ船の受入環境改善、良好な水辺空間の形成による観光地の魅力向上、国営公園のインバウンド対応、民族共生象徴空間の整備を実施。

#### ○農林水産物の輸出促進と農林水産業の競争力強化

次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成、輸出拠点としての漁港の整備、国際競争力のある産地イノベーションの促進、畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進、生産振興対策、水産日本の復活のための漁場整備を実施。

#### ○リニア中央新幹線や整備新幹線等の整備加速

物流ネットワークの強化、渋滞対策、国際競争力強化等に資する民間都市開発事業の推進、国際バルク戦略港湾の機能強化を実施。また、地域の競争力強化や成長基盤となる社会資本整備を推進する観点から、地方公共団体が実施する事業に対して総合的な支援を実施。（社会資本整備総合交付金）

### 3 地方の支援

#### ○地方創生の推進

無電柱化の推進、交通安全対策を実施。

### 4 防災対応の強化

#### ○災害対応の強化・老朽化対策

河川等、道路、港湾、空港、農業水利施設、漁港に係る防災・減災、老朽化対策を実施。また、水害・土砂災害や大規模地震に対する防災・減災対策、インフラ長寿命化計画を踏まえた老朽化対策等の地方公共団体が実施する事業に対して総合的な支援を実施。（防災・安全交付金）

#### 「未来への投資を実現する経済対策」

		うち一括配分
直轄事業	513億円	(85億円)
補助事業	857億円	(20億円)
計	1,369億円	(105億円)

平成28年度 北海道開発局関係補正予算（事業費）

【直轄】

（単位：百万円）

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一括配分額	
治 水	10,127	1,618	
道 路	12,315	6,439	
港 湾 整 備	2,160	80	
空 港 整 備	49	0	
都 市 水 環 境	63	63	
国 営 公 園 等	810	0	
農 業 農 村 整 備	24,400	0	
水 産 基 盤 整 備	1,020	0	
官 庁 営 繕	324	324	
合 計	51,268	8,524	

- 注 1. 北海道開発局関係補正予算における民族共生象徴空間の整備に係る経費は、国立民族共生公園の整備に要する経費のほか、慰霊施設の整備に要する経費を含めた1,514百万円である。
2. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
3. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【補助】

（単位：百万円）

事 項	補 正 追 加 額		備 考
		一括配分額	
住 宅	1,955	1,955	
市 街 地 整 備	1,860	0	
農 業 農 村 整 備	35,254	0	
水 産 基 盤 整 備	4,523	0	
社会資本総合整備	42,075	0	
社会資本整備総合交付金	8,861	0	
防災・安全交付金	33,214	0	
合 計	85,667	1,955	

- 注 1. 計数整理の結果、異動を生じることがある。
2. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

# 治水事業

## ○河川等の防災・減災対策の推進（河川改修、河川維持修繕、堰堤維持、砂防事業）

近年災害が発生した地域など人命被害や国民の生活に大きな支障が生じるおそれのある地域において、安全・安心を確保するため、再度災害防止対策やハード・ソフト一体となった水害・土砂災害対策を推進。

### 【河川改修】

○堤防天端をアスファルト等で保護し、決壊までの時間を少しでも延ばす対策等を実施。

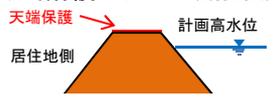
#### 天端保護前



#### 天端保護後



#### 天端保護のイメージ(断面図)



### 【砂防事業】

○土砂災害対策として砂防堰堤の整備を実施。

#### 寛生川砂防堰堤群



### 【河川維持修繕、堰堤維持】

○河川管理施設（護岸等）やダム管理施設（水密ゴム取替及び機側操作盤）の修繕等を実施。

#### 緊急的な修繕の実施



護岸の修繕



水密ゴムの劣化状況



水密ゴムの取替



絶縁抵抗値拡大図

絶縁抵抗値が0.3MΩであり、基準値1.0MΩを下回っている

機側操作盤更新

# 道路事業

## 21世紀型のインフラ整備

### ○物流ネットワークの強化、渋滞対策

生産性の高い物流ネットワークを構築するための整備を推進するとともに、渋滞対策を実施。

### 地方の支援

### ○無電柱化の推進、交通安全対策

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から無電柱化を推進。また、道路利用者の安全・安心の確保を図るため、歩道整備や交差点改良等により効果的な交通事故対策等を推進。

### 防災対応の強化

### ○道路の防災、老朽化対策の推進

災害発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動等を支援するため、道路の耐震対策や防災対策、橋梁の損傷箇所の修繕を推進。

### ○代替性確保ネットワーク(ミッシングリンク等)の整備

災害時の安定的な道路交通を支えるため、自然災害により通行止めが発生するリスクがある地域において、代替性の確保のための道路ネットワークの整備を推進。

### ○物流ネットワークの強化



### ○無電柱化の推進、交通安全対策

《無電柱化》



《歩道整備》



### ○道路の防災、老朽化対策の推進

《道路の耐震対策》



《橋梁の損傷箇所の修繕》



### ○代替性確保ネットワーク(ミッシングリンク等)の整備



# 港湾整備事業

## 大型クルーズ船の受入環境改善

訪日外国人の急増に伴うクルーズ船の寄港需要の増加と北海道への大型クルーズ船の配船隻数の増加に対応するため、既存岸壁の改良等を緊急的に実施する。

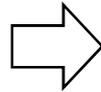
【事例】稚内港 末広地区 岸壁(-12m)(改良)[直轄事業]

◇大型クルーズ船の寄港需要の増加に対応するため、係船柱、防舷材の追加設置等を緊急的に実施する。

### 係船柱、防舷材の追加設置



大型クルーズ船に対応した係船柱及び防舷材がなく、ふ頭の利用に支障



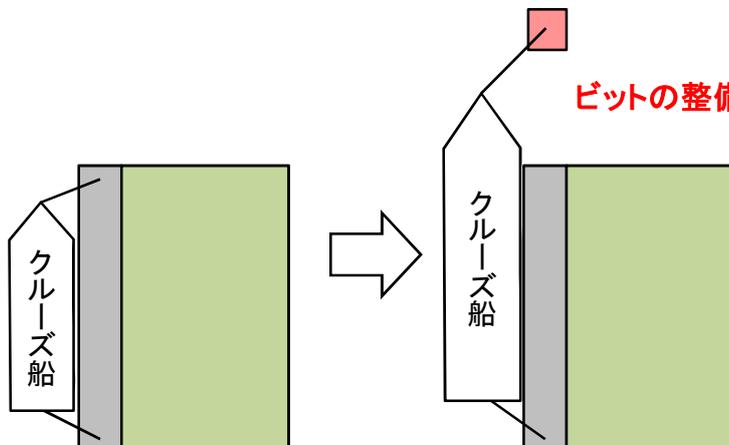
係船柱



防舷材

完成イメージ

### 大型クルーズ船の係留【イメージ】



大型クルーズ船に対応した岸壁の係留(イメージ)



大型クルーズ船の係留

大型クルーズ船のより安全な係留(イメージ)

# 空港整備事業

## ○空港の老朽化対策

航空機の安全な運航等を確保するため、老朽化対策を実施します。

### 【釧路空港 場周道路老朽化対策】

釧路空港の場周道路は、前回整備から25年以上が経過し、老朽化が非常に進行している。舗装はクラックが多発、側溝は底面が破断し排水機能が低下している。

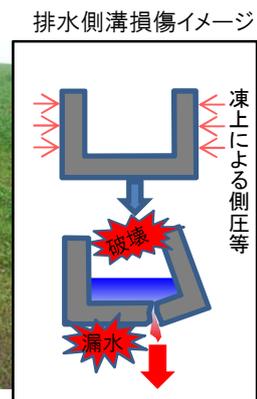
このため、アスファルト舗装の打替え及び凍上対策を考慮した排水側溝の施工を実施する。



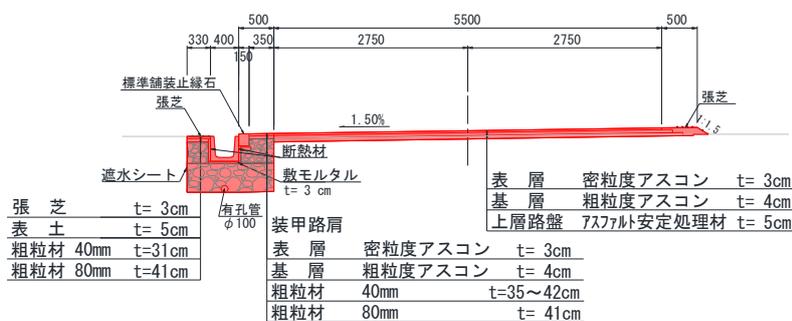
舗装版劣化状況



排水側溝損傷状況



標準断面図(改良後)



老朽化対策後(イメージ)

## 農業農村整備事業

「総合的なTPP関連政策大綱」に即し、「農地の大区画化・汎用化」、「水田の畑地化、畑地の高機能化等」、「畜産クラスターを後押しする草地整備」を推進します。

また、強靱な農村地域づくりのため、農業水利施設等に係る耐震化や農地の湛水被害防止等の防災減災対策、老朽化対策を推進します。

### 「TPP関連政策大綱」の着実な実施

#### ○ 農地の大区画化・汎用化の推進

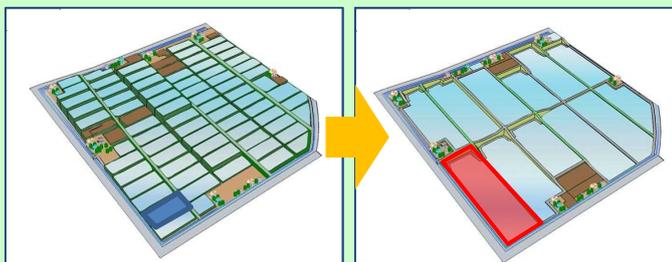
担い手への農地の集積・集約化を加速化するとともに、大型機械等の導入が可能な農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等のためのパイプライン化等の整備を推進。

#### ○ 水田の畑地化、畑地の高機能化等の推進

排水改良等による水田の畑地化・汎用化、区画拡大や畑地かんがい施設の整備による畑地の高機能化等の基盤整備を推進。

#### ○ 畜産クラスターを後押しする草地整備の推進

大型機械化体系に対応した草地・畑の一体的整備、草地の大区画化等の基盤整備を推進。



大型機械等の導入が可能な大区画を創出



区画拡大による畑地の高機能化



大型機械化体系に対応した  
草地整備

### 防災・安全対策の加速

#### ○ 農業農村整備事業

農業水利施設等に係る耐震化や農地の湛水被害防止等の防災減災対策、老朽化対策を実施。



湛水被害の発生



排水路を改修し湛水被害を解消



老朽化により倒壊した用水路

## 水産基盤整備事業

高品質な我が国水産物の一層の輸出拡大を図るため、衛生管理対策や流通機能の高度化、切迫した大規模地震・津波、近年の急速に発達する低気圧や台風等による施設被害や地域産業への影響を最小限に抑えるため、漁業地域における防災・減災対策を推進します。

### 【水産物輸出促進緊急基盤整備事業】

大規模流通・輸出拠点漁港(特定第3種漁港等)を核とした地域において、一貫した衛生管理の下、集荷・保管・分荷・出荷等に必要な共同利用施設等を一体的に整備します。

### 【自然災害に備えた漁港施設の防災・減災対策】

地震・津波、台風等の自然災害に強く、安全で安心な漁業地域の実現に向けて、岸壁等の耐震化や粘り強い構造をもつ防波堤など漁港施設の防災・減災対策や長寿命化対策を推進します。

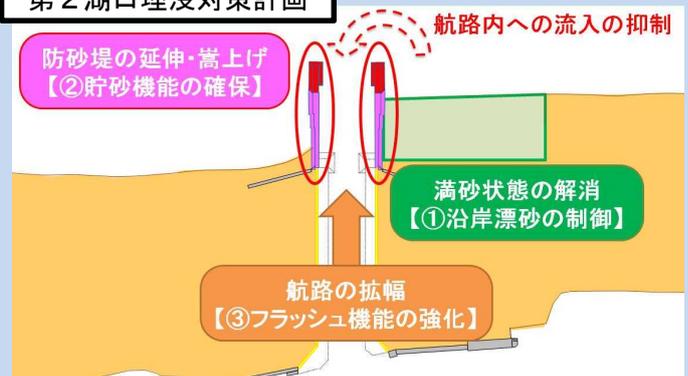
(事例) 直轄特定漁港漁場整備事業 サロマ湖地区

- ◆サロマ湖漁港は北海道北東部オホーツク海とサロマ湖を結ぶ湖口部に位置し、周辺海域のホタテガイ漁業を支える拠点漁港である。
- ◆網走中部海域は平成17年度に対EU輸出ホタテガイの生産海域に指定され、平成18年度からEU向け輸出を開始。北海道のホタテガイ生産の約2割を占める。
- ◆第2湖口の航路部においては、近年の冬季風浪によって航路の埋塞が発生し、ホタテ養殖漁業に与える影響が懸念。
- ◆航路や防砂堤の整備により、湖口埋塞を未然に防止し、サロマ湖内の養殖ホタテガイの生産量の減少を防止するとともに、国際競争力強化と力強い産地づくりを推進する。

航路埋塞状況



第2湖口埋没対策計画



## 官庁営繕事業

### 【官庁施設の耐震化対策等への対応】

#### 北見地方合同庁舎(耐震改修等)

##### 1. 事業概要

本施設は、建設後41年経過しており、災害発生時における災害応急対策活動の拠点となる官庁施設であるため、「災害対応の強化・老朽化対策」として防災機能を強化し、併せて老朽化対策を図るものである。

2. 施工場所 北海道北見市

3. 構造・規模 鉄筋コンクリート造 3階建 延べ面積 3,607㎡

### 耐震改修等

建物の主要な構造(基礎・土台、柱、梁、床、壁、天井)に対して補強を行うとともに、老朽化した既存外装仕上げ材を撤去・新設し、防災拠点として必要な性能を確保します。



耐震ブレース(イメージ)



外壁の老朽化(例)

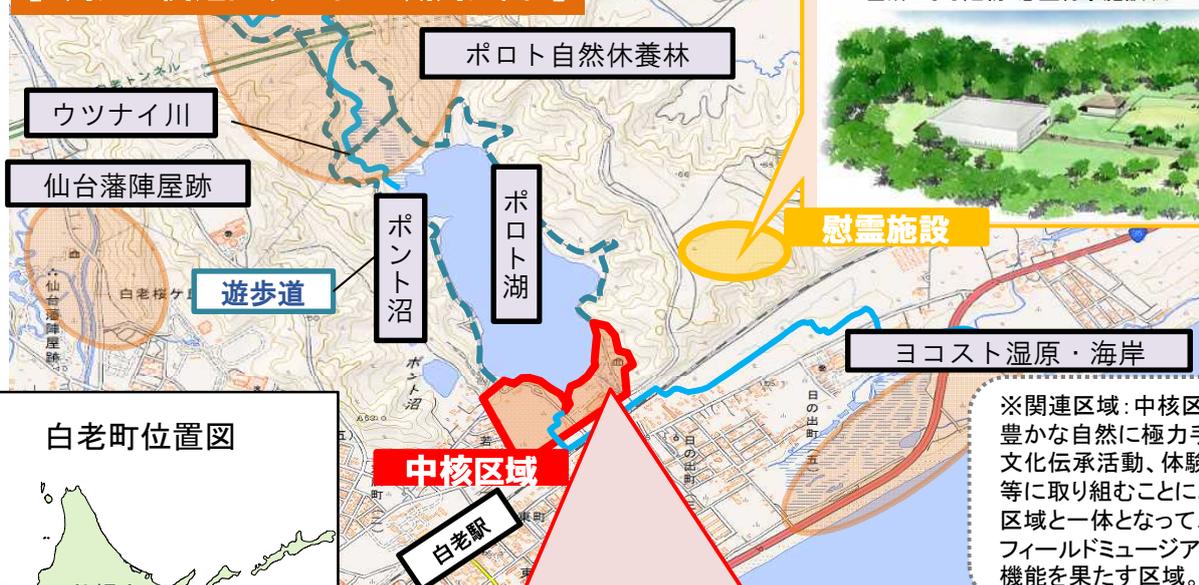
# 民族共生象徴空間の整備

## ○民族共生象徴空間の整備

アイヌ文化の復興等を促進するため、100万人の来場者実現に向け、国立民族共生公園及び慰霊施設の整備を実施。

## 民族共生象徴空間の概要

### 【 周辺の関連区域／ポロト湖周辺図 】



※関連区域：中核区域周辺の豊かな自然に極力手を加えず、文化伝承活動、体験交流活動等に取り組むことにより、中核区域と一体となって、広域的なフィールドミュージアムとしての機能を果たす区域。

将来へ向けてアイヌ文化の継承及びアイヌ文化の創造発展につなげるための拠点となるよう、中核区域に「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」を整備。



アイヌ古式舞踊

写真提供：(一財)アイヌ民族博物館